

經濟産業省

平成28年12月

「東北六魂祭パレード」(東京 新虎まつり) (2016/11/19~20)

「beyond2020先行プログラム」として、11/20(日)「東京 新虎まつり」のメインイベント「東北六魂祭*パレード」を東京都等主催で開催(同出発式は東京2020公認プログラム認証)。東北復興を掲げ、東京から東北への導線を創出するとともに、キャラクター等の日本のコンテンツを披露。2020年オリパラに向けた本年最大級の日本文化発信イベント。

東北六魂祭*：東北6県、6市の力を合わせて「鎮魂と復興」への狼煙を上げるために、東北の誇る6祭りが一堂に集うもの。2011年に開始。



<「東京 新虎まつり」イベント概要>

- 日本の伝統芸能やコンテンツ、東京・東北の観光情報、食文化等を披露、東北復興と魅力ある日本文化を発信。
- 19日(土)と20日(日)に、虎ノ門ヒルズや周辺等において、東北各市の名産品販売や日本酒の試飲、近隣地区の老舗や東北の飲食店による販売、伝統工芸の実演・体験等を実施。



<結果概要>

- 主な出席者：小池東京都知事、丸川オリパラ担当大臣、遠藤大会組織委員会会長代行(経産省からは高木副大臣が出席)
- 来場者数(まつり全体、2日間、のべ) 3万人
パレード観覧者数(2回合計) 1.6万人
- 出席メディアは61媒体100名、国内外総露出は346件(TV9件、新聞27件、雑誌等7件、ウェブ303件等)
- 組織委員会とも連携(ブース出展、「パレード出発式」への公認マーク付与)





「オリンピック・パラリンピック基本方針推進調査」（内閣官房予算）に係る試行プロジェクトとして、9/21、9/22の2日間、「2020年東京オリパラを活用した地域活性化推進首長連合*」のイベント「The Japan Connect 旅する新虎マーケット 2DAYS POP UP」を開催。地域の魅力を新虎通りで展開し、2020年大会を契機とした地域活性を国内外に広く発信した。



- 「旅する新虎マーケット」のプレイベントとして2DAYS POP UPを新虎通り歩道周辺において開催。「クラフトビール」をテーマに会員自治体の地ビールや食事を提供。地ビールは会員自治体のビアマグ、タンブラーで提供した。来場者数は2日間のべ約1,500人。ビールは666本を完売。特別メニューも462食を販売する盛況となった。
- 平成29年2月からは新虎通りにて「旅する新虎マーケット」を実施。3ヶ月ごとにテーマを設け、常設のブースにて自治体が保有する食材や工芸品、文化などのコンテンツの魅力を発信していく。週末には他の自治体が仮設ブースにマルシェスタイルで出店し、通り全体ににぎわいを生み出す。

*2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合：東京オリパラを契機として地域の魅力を改めて発信するとともに、地域の活性化に向けた具体的な取組を広域的に連携しながら戦略的かつ効果的に実践するため、各自治体の知恵と力を結集。現在459の自治体が加盟。会長は國定勇人三条市長。

- デジタルコンテンツEXPO内の「Features」シンポジウムにて、オリンピック・パラリンピックにおけるコンテンツ技術の可能性について、研究者やアスリートの視点からの講演・意見交換を実施。(東京2020公認プログラム)

【概要】

『オリンピック・パラリンピックにおけるコンテンツ技術の可能性』

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることで、注目が集まっているスポーツ業界に、VR・ARやドローンなどコンテンツ産業で使われた技術を導入することで新しいスポーツを生み出そうという試みが行われています。

本シンポジウムでは、そのようなコンテンツ技術による新しいスポーツの可能性について、研究者、開発者及びアスリートがそれぞれの視点から提言するトークセッションを実施。



稲見 昌彦氏



柏野 牧夫氏



室伏 広治氏



大日方 邦子氏

【出演者】

- ・稲見 昌彦 東京大学 先端科学技術研究センター 教授
- ・柏野 牧夫 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員・人間情報研究部 部長
NTTスポーツ脳科学プロジェクト プロジェクトリーダー
- ・室伏 広治 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 スポーツ局長 (兼務 スポーツディレクター)
- ・大日方 邦子 日本パラリンピアンズ協会 副会長、日本パラリンピック委員会 運営委員、産業構造審議会 2020未来開拓部会 委員、電通パブリックリレーションズ 営業推進部 オリンピック・パラリンピック部シニア・コンサルタント